

素直な柔軟心

卒業生・修了生の皆様、ご卒業・修了おめでとうございます。また、これまで温かくご支援されてこられたご家族の方々にも、心よりお祝い申し上げます。

皆様は、入学した年度によって、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全学合同での式典が中止となり、祝辞は各学部・学科別に、録画での放映になったこともありました。本日の卒業式・修了式は、文学研究科・歯学研究科・文学部・歯学部・短期大学部合同で、ご家族も同席されての挙行となり、式典を「けじめ」とするならば、同じ学園で共に学んだ卒業生および修了生が一同に会する場面は、強く印象に残ることでしょう。

皆様は、就職・研究・教育と、それぞれ新たな門出を迎えております。本学で培ったものを涵養しつつ、新しい環境で学び、活動することになります。職場をはじめ、集団に所属し、多くの人との交流の中で、個々人の立場による価値観や方針の違いを実感することもあるでしょう。

さて本学の建学の精神「大覚円成」は、不変の真実を説いております。その時々々の価値観は、絶対ではありません。社会の価値観は、時代時代において変化しており、「報恩行持」の具現化としては、それぞれに応じていくことが求められます。機に臨み、“素直な柔軟心”によって対応することが肝要です。人間は感情に支配されやすく、偏見を持ってしまうことが多々あります。しかし人は、気づいても気づかなくても、本来、感情や偏見から離れた素直な向上のための“柔軟心”を備えております。その心に基づいて学び、行動してください。

万物の存在の尊厳性の元で、人は恩（いつく）しみ、生かされています。これから皆様は、多種多様な社会でさらに学びながら、自分の力をそれぞれの分野で発揮されることを祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

令和7年3月14日

鶴見大学・鶴見大学短期大学部
学長 中根正賢

